

産地パワーアップ事業

もうかるブランド推進課

産地パワーアップ事業

「徳島市農業協同組合」の佐那河内・徳島市選果施設の再編整備概要

「徳島市農業協同組合」の枝豆選別施設の整備概要

「阿南農業協同組合」のゆず搾汁処理施設の整備概要

1 産地パワーアップ事業について

平成 27 年 10 月の TPP の大筋合意を受け、「総合的な TPP 関連政策大綱」が示され、「攻めの農林水産業への転換」を実現するため、平成 27 年度補正予算において新規に事業化された基金事業である。

本事業では、「地域農業再生協議会」が地域の営農戦略として策定する産地パワーアップ計画」を県で認定し、意欲のある農業者等が取り組む高収益作物・栽培体系への転換、果樹の同一品種への改植などの取組みの支援が可能となっている。

2 産地パワーアップ事業の概要について

本事業では、水田・畑作・野菜・果樹等の園芸品目を対象とし、生産・出荷コストの 10%以上の低減、販売額の 10%以上の向上などの収益力強化に計画的に取り組む産地に対して、

- ①園芸団地を育成するためのハウスや集出荷施設等の整備
- ②収穫機や環境制御装置等の高効率・高性能な農業機械のリース導入
- ③雨よけハウスや果樹棚等の高付加価値化に必要な生産資材の導入
- ④果樹の競争力のある品種について、同一品種の改植

など総合的な支援が行えるとともに、基金造成により複数年の事業実施が可能となっている。

- ・平成 27 年度補正予算額：本県予算枠 458,005 千円
内 訳：整備事業 215,757 千円
生産支援事業 242,248 千円
- ・平成 28 年度補正予算額：本県予算枠 612,216 千円
内 訳：整備事業 370,216 千円
生産支援事業 242,000 千円

基金管理団体：公益財団法人 日本特産農産物協会

「徳島市農業協同組合」の佐那河内・徳島市選果施設の再編整備概要

1 目的

徳島市多家良地区，八多地区，佐那河内村は県内有数の果樹産地として，温州みかん，すだち，キウイの生産が盛んな地域である。

現在，各地域の3カ所の集出施設において選果され出荷されているが，施設の老朽化が進行し維持管理費が増加するなど集出荷コスト負担が大きくなっている。

また，生産者の高齢化からキウイの共同選果が望まれている。

このため3カ所にある既存の施設を1カ所に集約再編することで，集出荷コストの削減を図るとともに高性能の外部品質センサーを導入しみかんとすだちの選果効率や品質の向上，キウイの共同選果を開始し出荷作業の分業化により農業者の労力負担を軽減することで産地の収益の向上に取り組む。

2 事業の概要

単位：千円

メニュー	施設区分	補助率	事業費	補助金
整備事業	集出荷貯蔵施設	1/2	257,508	119,216

3 施設の概要

- ①共同選別設備：外部品質センター 4条
計量梱包装置 一式
キウイ選果ライン 一式
- ②栽培品目：みかん，すだち，キウイ
- ③設置場所：名東郡佐那河内村下字中辺44-2

4 取組内容

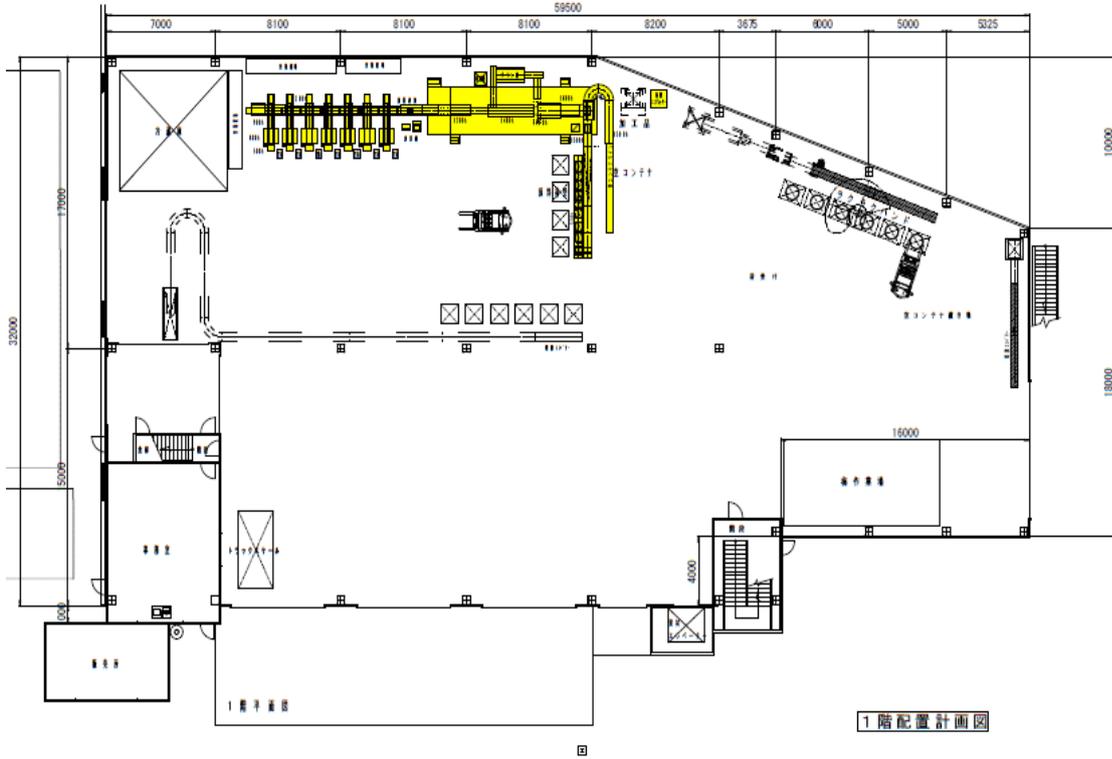
- ①集出荷場の集約再編により集出荷コストを削減する。
- ②みかん・すだちについて，高性能な外部品質センサーを導入し作業効率の向上を図る。
- ③キウイの共同選果機導入による省力化を推進することで、産地維持に取り組む。

5 成果目標

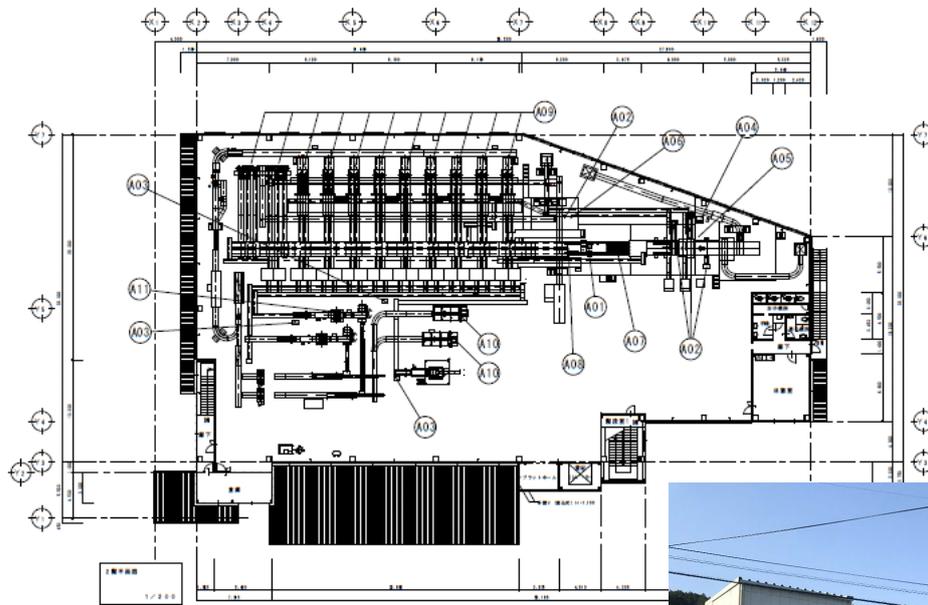
- ①集出荷コストの10%以上の削減
現状 66,134千円 → 目標 49,262千円
- ②栽培面積の拡大
現状 72.8ha → 目標 75.8ha (3ha増)

【佐那河内・徳島市選果施設】

○施設1階平面図



○施設2階平面図



2階配置計画図

○イメージ写真 「佐那河内選果場写真」 →



「徳島市農業協同組合」の枝豆選別施設の整備概要

1 目的

徳島市の北井上地区、南井上地区、不動地区を中心とする県内最大の枝豆産地だが、生産者が収穫後に脱莢・洗浄・選別・袋詰めまで行い出荷する個選出荷のため、調製作業には多くの労力が必要であり、生産者の高齢化がすすむ産地では負担が大きくなっている。

このため共同選別施設を新設し、高性能なベルト式色彩選別機の導入により共同選別を開始することで、農業者の労力負担の軽減、集出荷コストの低減を図るとともに品質の均一化や向上に努め産地の収益向上に取り組む。

2 事業の概要

単位：千円

メニュー	施設区分	補助率	事業費	補助金
整備事業	集出荷貯蔵施設	1/2	542,160	251,000

3 施設の概要

- ①共同選別施設：建 物 1,108㎡
 ベルト式色彩選別機 2台
 袋詰めライン 一式
- ②栽培品目 ：枝豆
- ③設置場所 ：徳島市不動西町3-832

4 取組内容

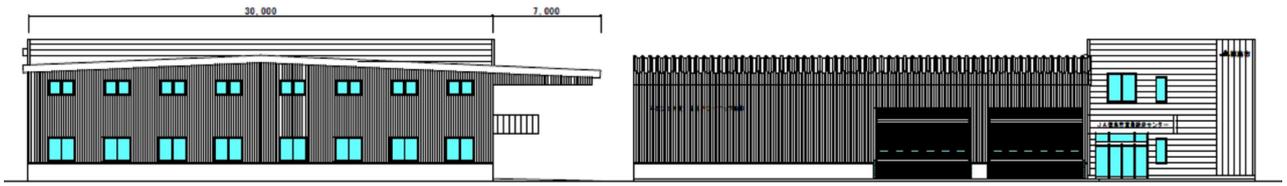
- ①共同選別施設の新設により調製作業を分業化し農家の調整作業の省力化を図るとともに、品質を統一する。
- ②栽培管理を徹底することで、品質や収量の向上、栽培面積の拡大を図る。

5 成果目標

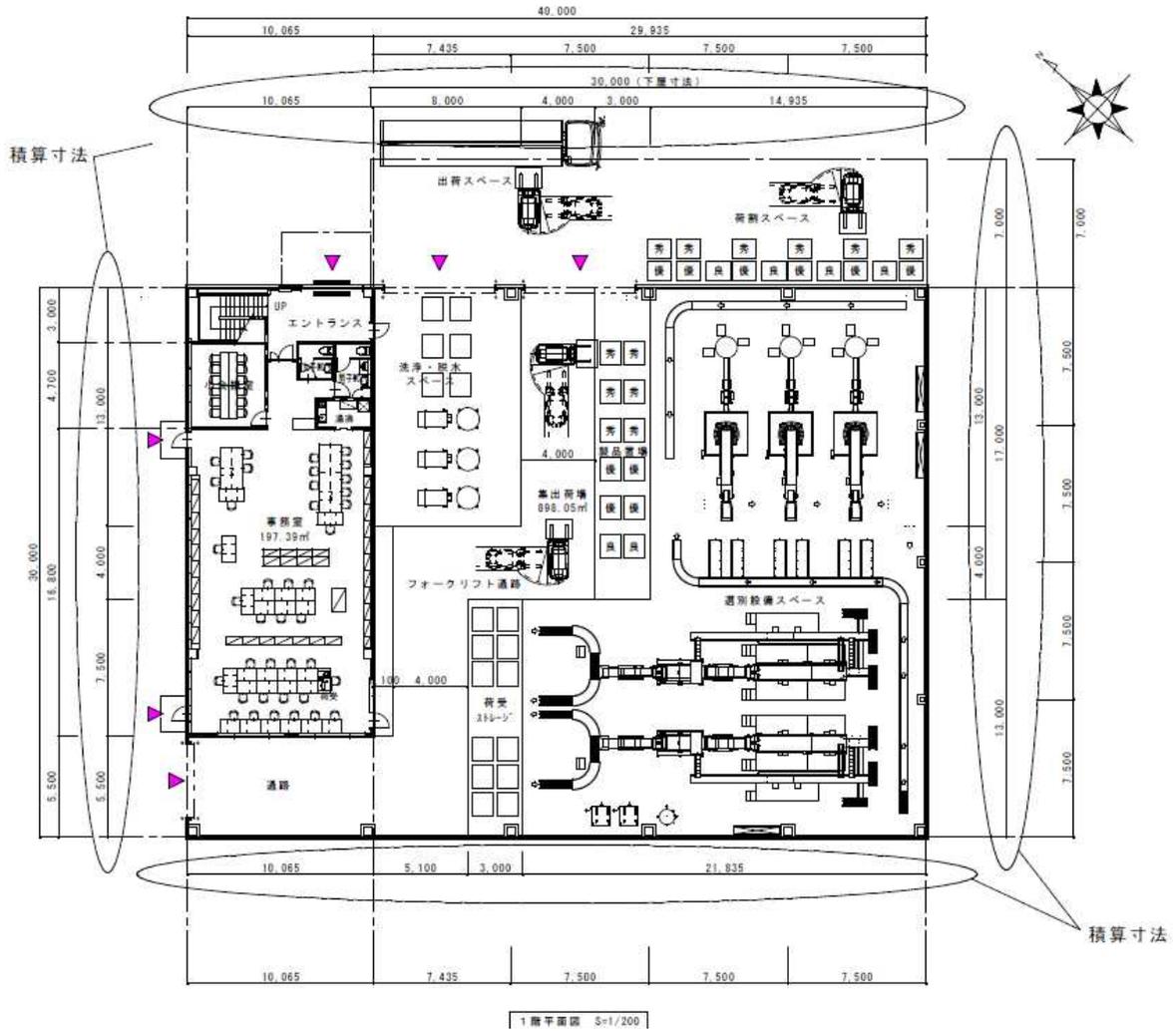
- ①販売額の10%以上の向上
 現状 246,963千円 → 目標 311,103千円
- ②栽培面積の拡大
 現状 85.5ha → 目標 89.8ha (4.3ha増)

【枝豆選別施設】

○施設立面図



○施設平面図



○イメージ写真 「選別機」 ↓ 「収穫機」 →



「阿南農業協同組合」のゆず搾汁処理施設の整備概要

1 目的

当地域における主要品目である「ゆず」は、EU輸出や大手量販店とPB商品の開発など先駆的な取り組みを行っているものの、農業従事者の減少や高齢化の進展等により産出額は低下傾向にある。

このため、ゆず等の加工処理体制を強化し、加工処理施設の機能増強を図るとともに、新植、改植の促進による栽培面積の維持・拡大や生産性の向上、労働補完組織の育成によるサポート体制の整備、省力化技術の普及等の取組を促進し、農業生産の拡大と農業所得の向上に努める。

2 事業の概要

単位：千円

メニュー	施設区分	補助率	事業費	補助金
整備事業	農産物処理加工施設	1/2	539,028	249,550

3 施設の概要

- ①加工設備：搾汁ライン 6台
 充填機 2台
 冷凍・冷蔵庫 一式
- ②栽培品目：ゆず，すだち，ゆこう
- ③設置場所：那賀町海川字ナカセ1

4 取組内容

- ①加工処理場の機能増強による加工処理量の増大，作業効率を高め品質と販売力の向上を図る。
- ②加工処理量を増大させることで，栽培面積の拡大を図り，農家所得の向上に努める。

5 成果目標

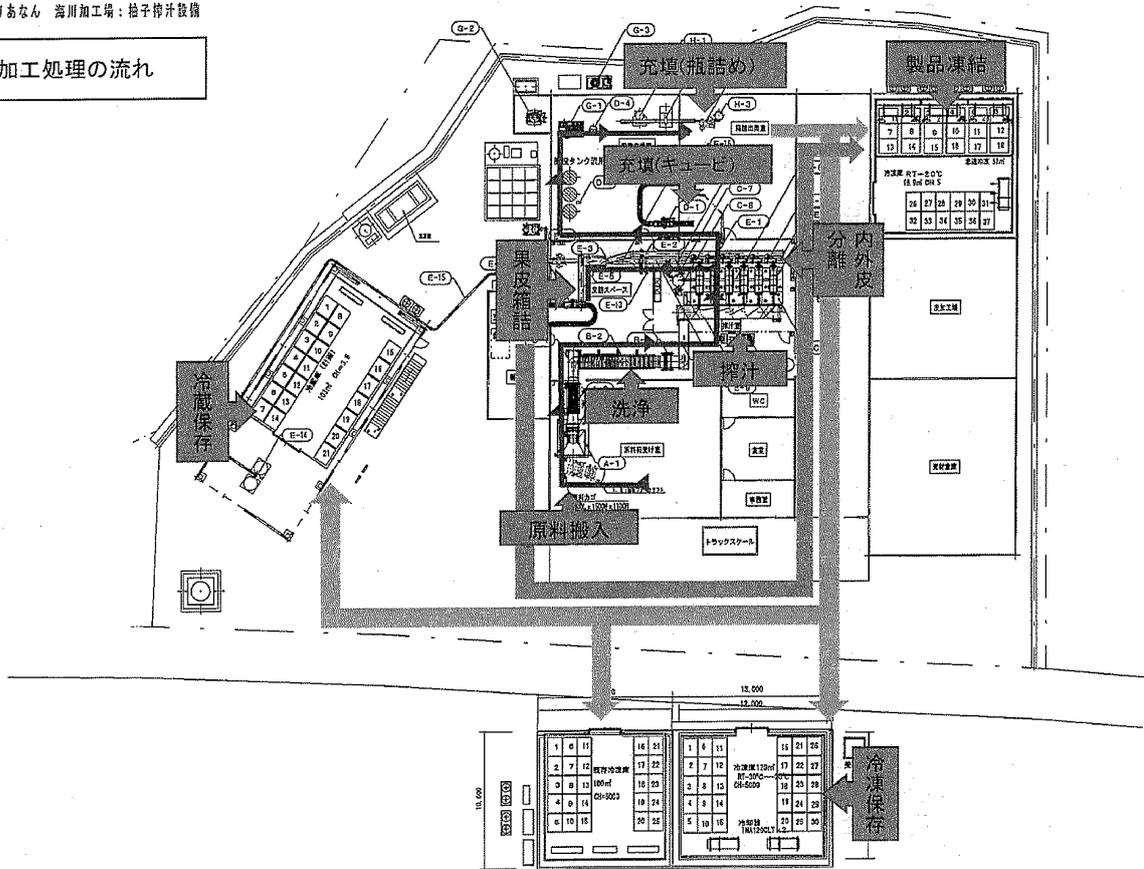
- ①販売額の10%以上の向上
現状 119,083千円 → 目標 132,351千円
- ②栽培面積の拡大
現状 164.3ha → 目標 170.3ha (6ha増)

【ゆず搾汁処理施設】

○施設平面図

JAアグリあなん 海川工場：ゆず搾汁設備

加工処理の流れ



○イメージ写真

「海川工場外観」 ↓



「ゆず果汁商品」 ↓

